

特定非営利活動法人日本火山学会 2019 年度秋季大会プログラム

期 間：2019 年 9 月 25 日（水）～ 9 月 27 日（金）（学術講演会）

会 場：神戸大学六甲台第 2 キャンパス

責任者：2019 年度秋季大会実行委員会 金子克哉委員長

【講演会場】

神戸大学六甲台第 2 キャンパス

〒 657-0013 神戸市灘区六甲台町 1-1

<http://www.kobe-u.ac.jp/>

※交通

六甲駅（阪急神戸線）より徒歩 15 分。

六甲駅（阪急神戸線）、JR 六甲道駅（在来線）、御影駅（阪神本線）からバス：神戸市バス 36 系統鶴甲団地行に乘車。神大文理農学部前下車（所要時間はそれぞれ 5 分、10 分、25 分；1 時間あたり 4～6 本くらい；210 円）。バス停より南側に徒歩 5 分。

タクシー利用の際は「神戸大百年記念館（六甲ホール）」を行先にしてください。

神戸大学の来訪者用駐車場はほとんどありません。参加にあたっては公共交通機関をご利用ください。

開催場所の詳細については、以下のサイトを参照してください。

<http://www.kobe-u.ac.jp/guid/access/rokko/rokkodai-dai2.html>

※会場

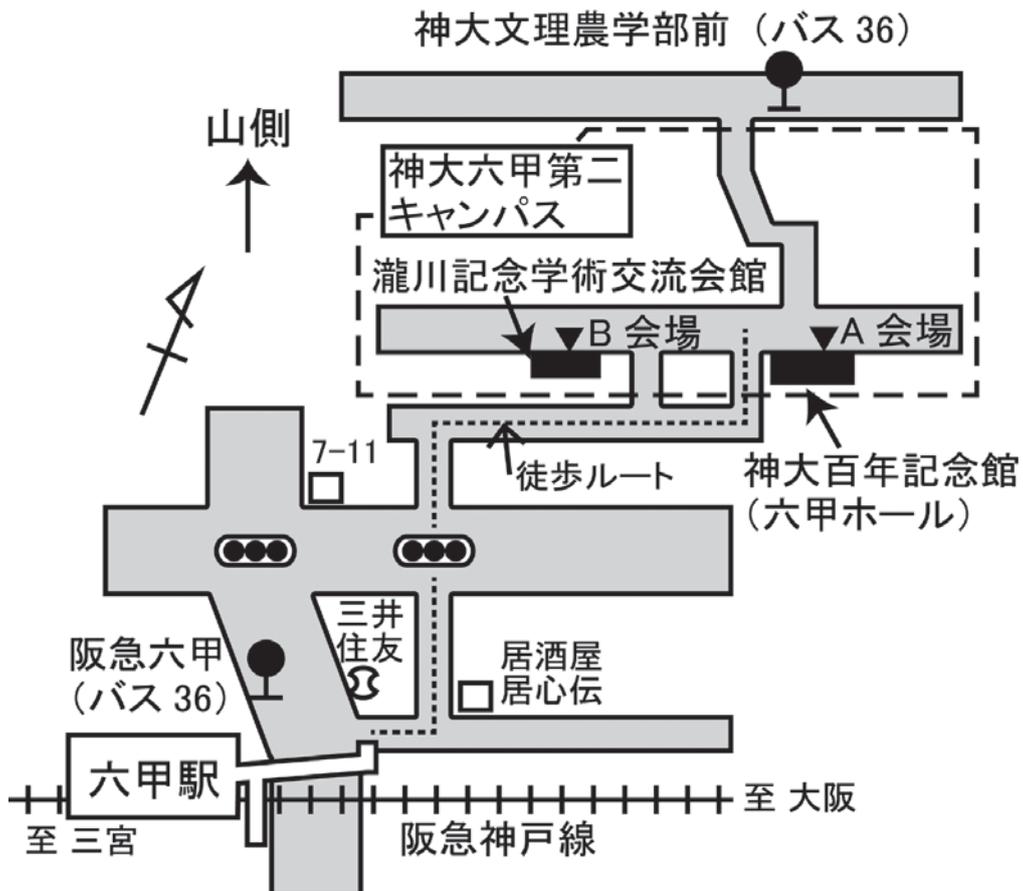
A会場：神戸大学百年記念館六甲ホール

B会場：神戸大学瀧川記念学術交流会館大会議室

ポスター会場：神戸大学百年記念館六甲ホール・ピロティ

受付：神戸大学百年記念館六甲ホール

団体（企業）展示：神戸大学百年記念館六甲ホール



【交流会】

日時：9月26日（木） 18時30分～20時30分

会場：神戸大学生協レストラン「BEL BOX」

会費（会場申込）：会員：6,000円，学生会員：4,500円

【口頭発表スケジュール】

		A 会場 (神戸大学百年記念館六甲ホール)	B 会場 (瀧川記念学術交流会館大会議室)
9月25日 (水)	午後 (13:00～16:45)	噴火ダイナミクス	火山の地震 地殻変動
	午後 (16:55～18:00)	学生優秀ポスター発表賞・審査タイム	
	午後 (18:00～19:00)	ポスターセッションコアタイム (神戸大学百年記念館六甲ホール・ピロティ) 奇数番号 (P01,03,05～)	
9月26日 (木)	午前 (8:30～12:00)	岩石学	火山化学
	午後 (13:00～14:15)	岩石学	火山災害1
	午後 (14:25～15:25)	ポスターセッションコアタイム (神戸大学百年記念館六甲ホール・ピロティ) 偶数番号 (P02,04,06～)	
	午後 (15:35～15:55)	臨時総会 (A 会場)	
	午後 (16:00～18:10)	受賞記念講演 (A 会場)	
9月27日 (金)	午前 (9:00～11:45)	カルデラ	火山災害2
	午後 (12:45～15:00)	カルデラ	火山地質

※一人あたりの講演時間は15分ですが、3分は質疑応答時間として残すようにしてください。

※講演会場には液晶プロジェクタ1台、スクリーン1面があります。OHPやプロジェクタは用意できませんのでご注意ください。

【ポスター発表スケジュール】

- ・ポスター掲示時間：9月25日(水)13時～9月27日(金)12時
神戸大学百年記念館六甲ホール・ピロティ
- ・コアタイム：9月25日(水)16:55-18:00 (学生優秀ポスター発表賞・審査タイム)
9月25日(水)18:00-19:00 (奇数番号 P01,P03,P05～)
9月26日(木)14:25-15:25 (偶数番号 P02,P04,P06～)
- ・ポスターパネルのサイズは、幅87cm×高168cmです。
- ・電源の必要なパソコンやビデオの使用はできません。

【そのほかの行事・会合予定】

- ・9月28日(土) 時間：13時30分～16時頃
会場：神戸大学瀧川記念学術交流会館
公開講座 「親子で火山実験～マグマを見よう！いろいろな溶岩流を知ろう！」
- ・9月28日(土) 時間：10時～12時10分 会場：神戸大学百年記念館六甲ホール
シンポジウム 「超巨大噴火を起こした海の火山－鬼界火山」

【現地討論会】

瀬戸内海東部と小豆島の地質 (2泊3日)

9月25日(水) 午後

A 会場

噴火ダイナミクス
座長：小園誠史・並木敦子

- 13:00-15:15
A1-01 阿蘇火山中岳 2019年5月3日～5日噴出物の分布と構成物 ※宮縁育夫・飯塚義之・大倉敬宏
- 13:15-13:30
A1-02 霧島山新燃岳における2011, 2018年噴火間のマグマ蓄積条件の変化 ※小園誠史・上田英樹・小澤拓
小屋口剛博・山崎 雅
- 13:30-13:45
A1-03 火山灰測色値と地球物理データとの時系列相関解析—桜島昭和火口2009-2015年活動について—
※嶋野岳人・日野英逸・安田 敦
井口正人・上木賢太・桑谷 立
- 13:45-14:00
A1-04 ブルカノ式噴火における噴火微動と火山灰放出量の関係：霧島山新燃岳2011年及び2018年噴火の場合
※及川 純・田島靖久
- 14:00-14:15
A1-05 ストロンボリにおける空振の3次元的小規模アレイ観測実験 ※◎山河和也・市原美恵
Claudia Sánchez・池田 航
Giorgio Lacanna・Maurizio Ripepe
- 14:15-14:30
A1-06 2018年ハワイ島キラウエア火山噴火の概要とLERZの溶岩流 ※並木敦子・Matthew R.Patrick
- 14:30-14:45
A1-07 マグマ断層帯における粘性流動・摩擦滑り遷移に対する結晶の効果 ※◎田中竜太郎・奥村 聡

14:45-15:00 休憩

座長：三輪学央・常松佳恵

- 15:00-15:15
A1-08 発泡安山岩質マグマの剪断変形実験 ※◎川瀬遼太・中村美千彦
- 15:15-15:30
A1-09 全方位ミュオグラフィによる火山観測：～大室山(静岡県伊東市)における実証計画～ ※宮本成悟
長原翔伍・森島邦博
中野敏行・小山真人・鈴木雄介
- 15:30-15:45
A1-10 霧島硫黄山2018年4月19日の水蒸気噴火に伴う空振シグナルの解析 ※◎村松 弾・松島 健
岩佐優一・市原美恵

B 会場

火山の地震
座長：山本 希・山田大志

- 13:00-13:15
B1-01 火山活動と対応した深部低周波地震の特徴—霧島山・雌阿寒岳・桜島での観測例—
※◎栗原 亮・小原一成・竹尾明子・田中優作
- 13:15-13:30
B1-02 光ファイバーとDASを用いた吾妻山における地震観測 ※西村太志・江本賢太郎・中原 恒
三浦 哲・山本 希・杉村俊輔
植田尚大・石川 歩・木村恒久
- 13:30-13:45
B1-03 雲仙火山極浅部で発生する初動極性が引きで卓越する地震 ※◎橋本 匡・相澤広記・松島 健
清水 洋・林田祐人・湯浅雄平・塚本果織
山本有人・宮野幹大・神蘭めぐみ
松本 聡・前迫直人・河村優太
- 13:45-14:00
B1-04 吾妻山における長周期地震とそれに伴う傾斜変動 ※山本 希
- 14:00-14:15
B1-05 地盤変動に続く地震活動に関する考察 ※井口正人
- 14:15-14:30
B1-06 地震波解析から推定される草津白根火山本白根山2018年噴火の噴火過程 ※山田大志・黒川愛香
寺田暁彦・神田 径・上田英樹・青山 裕
大倉敬宏・小川康雄・棚田俊收
- 14:30-14:45
B1-07 火山地域の深部低周波地震の波形と振動極性に対する共鳴効果の数値モデリング 春山太一
※小菅正裕・前田拓人

14:45-15:00 休憩

地殻変動

座長：堀田耕平・三浦 哲

- 15:00-15:15
B1-08 2017年11月13日南岳爆発に伴う傾斜ひずみ変化 ※堀田耕平・井口正人
- 15:15-15:30
B1-09 箱根火山2019年群発地震活動に伴う地殻変動 ※道家涼介・原田昌武・板寺一洋・加藤照之
- 15:30-15:45
B1-10 2015年蔵王山膨張イベントの変動源 ※三浦 哲
山本 希・太田雄策
出町智嗣・立花憲司・市来雅啓

- 15:45-16:00
A1-11 VOLCAT による降灰その場自動観察
※三輪学央・下司信夫・伊藤順一
棚田俊收・井口正人
- 16:00-16:15
A1-12 火山岩塊の空力学的特性と飛翔メカニズムの研究
※常松佳恵・瀬尾和哉
- 16:15-16:30
A1-13 風で曲がる噴煙からの粒子落下を再現する一コード
開発と新燃岳 2011 年噴火の再現 ※萬年一剛
- 16:30-16:45
A1-14 気象レーダーによる火山噴煙高度推定手法の検証
※佐藤英一・福井敬一・新堀敏基

- 15:45-16:00
B1-11 ALOS2/PalSAR2 が示唆する恵山火山の斜面滑動
※村上 亮
- 16:00-16:15
B1-12 GNSS 連続観測網による火山性地殻変動監視のため
の広域変動の除去手法 ※畑中雄樹
- 16:15-16:30
B1-13 2016-2017 年の火山活動に伴う地殻変動から推定する
雌阿寒岳・雄阿寒岳のマグマ供給系の構造
※小林知勝・山田晋也
- 16:30-16:45
B1-14 PALSAR-1/2 による草津白根山における地殻変動の時
系列変化：2018 年本白根山噴火に伴う地殻変動と力
源推定 ※姫松裕志・小澤 拓・青木陽介

9 月 26 日 (木) 午前

A 会場

岩石学

座長：佐野貴司・無盡真弓

- 8:30-8:45
A2-01 蔵王火山，御釜火口活動期における噴火準備過程
※◎佐藤初洋・伴 雅雄
- 8:45-9:00
A2-02 揮発性元素から推測した中央海嶺玄武岩マグマの分
化と上昇過程 ※佐野貴司・山下 茂
- 9:00-9:15
A2-03 クリスタルクロットを用いたプレ噴火過程の制約：
雲仙平成噴火の例 ※◎岩橋くるみ・安田 敦
石橋秀巳
- 9:15-9:30
A2-04 珪酸塩メルト中での結晶成長の高温その場観察
実験 ※無盡真弓・中村美千彦・松本 恵
- 9:30-9:45
A2-05 マグマ中のメルトの蒸発凝縮作用におけるハロゲン
の効果 ※◎櫻井亮輔・中村美千彦・奥村 聡
- 9:45-10:00
A2-06 一ノ目湯産カンラン岩捕獲岩の熱史の深さ変化
※◎佐藤侑人・小澤一仁

10:00-10:15 休憩

座長：石橋秀巳・田村芳彦

- 10:15-10:30
A2-07 富士山宝永噴火の斑レイ岩カタクレーサイト捕獲岩
※石橋秀巳・針金由美子・安田 敦・外西奈津美

B 会場

火山化学

座長：鬼澤真也・森田雅明

- 8:30-8:45
B2-01 地下水水質によるマグマ溜りの状態把握：その手法と
阿蘇および九重火山への適用結果 ※風早康平
東郷洋子・高橋 浩・高橋正明・佐藤 努
森川徳敏・堀口桂香・篠原宏志・稲村明彦
- 8:45-9:00
B2-02 霧島硫黄山の湯だまり・湧水の化学組成から見た
2018 年噴火に伴う地下熱水環境の変化
※◎山本春香・木川田喜一
- 9:00-9:15
B2-03 えびの高原における水質の連続観測（続報）
※伊藤英之・辻 盛生・井村隆介
- 9:15-9:30
B2-04 坑井温度プロファイルから推定される伊豆大島火山
の熱水系 ※鬼澤真也・松島喜雄
- 9:30-9:45
B2-05 火山性水試料の野外自動サンプリング装置の開発
※大野鷹士・森 俊哉
- 9:45-10:00
B2-06 気泡のあるメルト包有物の二酸化炭素精密測定
※羽生 毅・山本順司・木元克典・中村由里子
清水健二・牛久保孝行

10:00-10:15 休憩

- 10:30-10:45
A2-08 富士宝永噴火のマグマ破碎圧力に対する岩石学的制約：玄武岩質プリニー式噴火のダイナミクスへの応用 ※◎ Kyungmin Kim・中村美千彦 小園誠史・吉本充宏
- 10:45-11:00
A2-09 玄武岩質メルトの結晶作用と分化の非平衡過程 ※◎種田凌也・石橋秀巳・外西奈津美・安田 敦
- 11:00-11:15
A2-10 みなとプロジェクト：南鳥島火山調査 KR19-05 の概要 ※田村芳彦・佐藤智紀・平井康裕・吉田健太 Rospabe Mathieu・Zhao Siyu・石塚 治 常 青・宮崎 隆・四宮裕太 宮嶋優希・島寄 雄
- 11:15-11:30
A2-11 ケルマディック弧キブルホワイト火山の Mg 安山岩とその成因 ※◎平井康裕・田村芳彦 Hoernle Kaj・Werner Reinhard・Hauff Folkmar Christian Timm・Vaglarov Bogdan・常 青 宮崎 隆・木村純一
- 11:30-11:45
A2-12 北部フォッサマグナ西部の海川火山岩類における角閃石の潜在的な分別結晶作用 ※◎相澤正隆・新城竜一・岡村 聡・宮城磯治
- 11:45-12:00
A2-13 中国北東部五大連池市周辺域の新生代アルカリ玄武岩に含まれるメルト包有物の地球科学的特徴 ※◎林 裕馬・柵山徹也・清水健二・牛久保孝行

座長：風早竜之介・寺田暁彦

- 10:15-10:30
B2-07 火山火口投下貫入型観測システムの開発 田中 智・※白井 慶・白石浩章・山田哲哉 早川雅彦・後藤 健・山田竜平・及川 純 村上英記・佐伯和人・井口正人
- 10:30-10:45
B2-08 火山活動の変化に伴う二酸化硫黄放出量の変動の特徴について～霧島新燃岳・口永良部島・阿蘇山における最近の事例から～ ※森 健彦・森 俊哉 福岡管区気象台・鹿児島地方気象台
- 10:45-11:00
B2-09 草津白根山（湯釜）の火山活動に対応した火山ガス組成変化 ※風早竜之介・北川隆洋・大場 武 谷口無我・寺田暁彦・神田 径
- 11:00-11:15
B2-10 フィリピン・タール山の火山ガス ※大場 武・谷口無我・沼波 望・笹井洋一 C.L. Barairo・P. Alanis・M.A. Bornas・楠本成寿 長尾年恭・角皆 潤・伊藤昌稚・新宮原諒
- 11:15-11:30
B2-11 霧島硫黄山 2018 年噴火前後における火山ガス組成変動 ※森田雅明・篠原宏志・関 香織・風早竜之介
- 11:30-11:45
B2-12 伊豆大島三原山火口底の火山ガス組成測定 ※寺田暁彦・森 俊哉・大場 武 谷口無我・鬼澤真也・森田裕一
- 11:45-12:00
B2-13 箱根火山における火山ガス SO₂/H₂S 比自動観測の試み 火山ガスの簡易化学分析 ※大庭憲二 山本泰道・東出和総・大場 武

9月26日(木) 午後

A 会場

岩石学

座長：佐藤鋭一・山元孝広

- 13:00-13:15
A2-14 今市火砕流堆積物溶結部の黒曜石レンズの化学組成 ※◎坂本房江・奥野 充・角縁 進・木戸道男 村松秀喜・熊本智之・澤田武美 英彦山研グループ
- 13:15-13:30
A2-15 斑晶岩石学とマグマ溜りプロセス 研究史と現状の課題 ※高橋正樹
- 13:30-13:45
A2-16 島原半島南部の玄武岩類の地質および岩石学的特徴 ※角縁 進・南村裕二郎

B 会場

火山災害 1

座長：廣谷志穂・山田 耕

- 13:00-13:15
B2-14 伊豆東部火山群の防災対策の現状と課題 特にハザード評価の見直しについて ※小山真人
- 13:15-13:30
B2-15 伊豆東部火山群における想定噴火影響範囲と噴火シナリオの見直し ※廣谷志穂・荒井健一 藤田浩司・池島 剛・上條孝徳・中村一郎 村松弘一・北沢隆夫・松村昌広・小山真人
- 13:30-13:45
B2-16 インドネシアアグン火山での地域特性を活かした火山防災対応 ※久利美和・松本行真

13:45-14:00

A2-17 雌阿寒岳, 阿寒富士の噴火活動とマグマ供給系
※佐藤鋭一・和田恵治・南 裕介
石塚吉浩・中川光弘

14:00-14:15

A2-18 富士火山降下火砕物の化学組成と噴出量
※山元孝広・中野 俊・石塚吉浩・高田 亮

13:45-14:00

B2-17 2018年草津白根山噴火ニュースへのオンラインコメントにみる国民の火山リスク観 ※山田 耕

14:00-14:15

B2-18 越境火山災害をめぐる国際リスクコミュニケーション—2010年アイスランド火山噴火対応の事例より—
※阪本真由美・中道治久・荒島千鶴
高橋若菜・荒木田勝

臨時総会 (A 会場) 15:35-15:55

A 会場

受賞記念講演
座長: 千葉達朗

16:00-16:15

S-01 火山電磁モニタリングシステム ACTIVE—これまでの成果と課題、今後の可能性について— 南 拓人

16:15-16:35

S-02 アナロジー実験と噴火観測による火山噴火ダイナミクスの総合的研究 市原美恵

16:35-16:55

S-03 沈み込み帯の誕生と島弧創成 石塚 治

16:55-17:15

S-04 写真を通しての火山の理解 白尾元理

17:15-17:40

S-05 桜島火山における共同研究 井口正人

17:40-18:10 予備時間

9月27日(金) 午前

A 会場

カルデラ
座長: 宮城磯治・下司信夫

9:00-9:15

A3-01 阿蘇火山における玄武岩質マグマ存在深度の岩石学的制約 川口允孝・※長谷中利昭・安田 敦
外西奈津美・森 康

9:15-9:30

A3-02 Aso-4 スコリアのカンラン石斑晶に見られる直方輝石層に囲まれたメルト包有物
※◎菊池瞭平・金子克哉

9:30-9:45

A3-03 阿蘇4/3間降下テフラと阿蘇4火砕流初期の噴火推移 ※星住英夫・宮縁育夫・宮城磯治
下司信夫・宝田晋治

B 会場

火山災害2
座長: 上澤真平・小林 淳

9:00-9:15

B3-01 富士山溶岩流シミュレーション—河口湖・山中湖への流入効果— ※藤田英輔・吉本充弘

9:15-9:30

B3-02 我が国の降下火山灰データベースを用いた確率論的降灰ハザード評価 ※上澤真平・土志田潔
竹内晋吾・三浦大助

9:30-9:45

B3-03 雲仙岳1792年眉山崩壊は地下水位の上昇と地すべりにより起こった ※津久井雅志

9:45-10:00

B3-04 箱根火山神山・大涌谷周辺の火口列とその火山防災上の意味 ※小林 淳・萬年一剛
長井雅史・山口珠美

9:45-10:00

A3-04 阿蘇火山における大規模および小規模噴火の Sr 同位体組成の特徴 ※◎新庄研斗・金子克哉
木村純一・常 青

10:00-10:15

A3-05 阿蘇カルデラの珪長質マグマ生成における浅所脱ガスの重要性 ※宮城磯治・須田泰市・星住英夫
斎藤元治・宮縁育夫・下司信夫

10:15-10:30 休憩

座長：潮田雅司・宮本 毅

10:30-10:45

A3-06 岩戸噴火本質岩片に含まれる斜長石の地球化学的性質 ※◎西原 歩・巽 好幸・金子克哉
鈴木桂子・常 青

10:45-11:00

A3-07 始良カルデラ形成噴火に至る流紋岩マグマ蓄積過程 ※下司信夫・山田伊久子・松本恵子

11:00-11:15

A3-08 高温高压実験に基づく Aso-1 珪長質マグマ溜まりの温度圧力条件 ※潮田雅司・宮城磯治・星住英夫

11:15-11:30

A3-09 大規模カルデラ形成噴火に至る前駆活動の特徴 ※金田泰明・西野佑紀・宝田晋治

11:30-11:45

A3-10 宮城県北部・鬼首カルデラの形成過程 ※宮本 毅・広井良美

10:00-10:15

B3-05 火口及び火口周辺観光と防災 ※佐藤 公・成毛志乃

10:15-10:30 休憩

座長：宮城洋介・佐々木寿

10:30-10:45

B3-06 自治体防災担当者を対象とした試作版周知啓発用コンテンツの開発について ※久保智弘・吉本充宏
本多 亮・堀内佑紀・宮城洋介

10:45-11:00

B3-07 次世代火山研究推進事業における「対策研究」の進捗 ※宮城洋介・中田節也・宮村正光・吉本充宏
久保智弘・本多 亮・堀内佑紀
野畑有秀・大塚清敏・諏訪 仁

11:00-11:15

B3-08 昼の噴石衝突安全に関する実験的検討 ※立山耕平
成毛志乃・佐々木寿・山田浩之

11:15-11:30

B3-09 鉄鋼製デッキプレートの噴石衝突安全に関する実験的検討 ※山田浩之・立山耕平・吉本充宏
鳥潟信一・成毛志乃・佐々木寿・藤井敏嗣

11:30-11:45

B3-10 鉄筋コンクリートの噴石衝突安全に関する評価手法の検討 ※佐々木寿・成毛志乃
立山耕平・山田浩之

9月27日(金) 午後

A 会場

カルデラ

座長：前野深・宝田晋治・八木原寛・山崎雅

12:45-13:00

A3-11 阿多カルデラ周辺の地殻の3次元地震波速度構造、及び加久藤カルデラ下の速度構造との比較
海野直弘・※八木原寛・仲谷幸浩・平野舟一郎

B 会場

火山地質

座長：田島靖久・大場 司・奥野 充

12:45-13:00

B3-11 横ずれ断層端部に形成された阿蘇火山 熊本地震での断層変位と火山の関係 ※田島靖久・長谷中利昭

13:00-13:15

B3-12 栗駒火山 1944 年、1744 年水蒸気噴火堆積物の層相と粒度特性 ※藤縄明彦・柴田翔平・土井宣夫

13:15-13:30

B3-13 伊豆諸島神津島火山 穴の山におけるテフラ層序と対比 ※村田昌則・小林 淳・高橋尚志
青木かおり・鈴木毅彦

13:30-13:45

B3-14 フィリピン北部、イラヤ火山の完新世テフラと AMS ¹⁴C 年代 ※奥野 充・佐藤鋭一・中村俊夫
Thessa Quilalang・Robjunelieaaa Lim・小池裕子
Eusebio Dizon・Ame Garong・Abigael Castro
田代 崇・安田裕紀

13:00-13:15

- A3-12 人工地震探査による始良カルデラ下の速度構造 (4)
※宮町宏樹・小林昴司・八木原寛・平野舟一郎
久保武史・早田正和・坂尾健有・海野直弘
松島 健・内田和也・宮町凜太郎・磯田謙心
Agnis Triahadini・手操佳子・神谷義之介・清水 洋
片尾 浩・澁谷拓郎・三浦 勉・中川 潤
米田 格・加藤慎也・為栗 健・瀧下恒星
仲井一穂・山下裕亮・前田裕太・渡辺俊樹
堀川信一郎・松廣健二郎・奥田 隆・辻 修平
十川直樹・長谷川大真・中東和夫・蔵下英司
岩崎貴哉・篠原雅尚・山田知朗・阿部英二
安藤美和子・田中伸一・池澤賢志・佐藤利典
山本 希・平原 聡・中山貴史・東 龍介
日野亮太・大友周平・鈴木秀市・筒井智樹
井上雄介・竹井瑠一・多田悠也・高橋浩晃
青山 裕・大園真子・椎名高裕・高田真秀
一柳昌義・山口照寛・小野夏生・齊藤一真
伊藤ちひろ・薄田悠樹・村井芳夫
中垣達也・田中康久

13:15-13:30

- A3-13 始良カルデラにおける粘弾性地殻変動
※山崎 雅・Freysteinn Sigmundsson・井口正人

13:30-13:45

- A3-14 阿蘇4・始良・洞爺噴火の噴出量推定 ※宝田晋治

13:45-14:00

- A3-15 給源カルデラから 300-500 km 遠方に降下した火山豆
石：猪牟田ピンクテフラ層での例 ※佐藤隆春
森山義博・石井陽子・小西哲夫
坂本隆彦・別所孝範・山本睦徳

14:00-14:15

- A3-16 小笠原硫黄島火山 2018 年 9 月 12 日の噴火イベント
と再生ドーム形成活動 ※長井雅史・小澤 拓
上田英樹・入山 宙・山田大志
棚田俊收・三輪学央・小林哲夫

14:15-14:30

- A3-17 鬼界アカホヤ噴火におけるフェルシックマグマの成
因 ※◎西村公宏・巽 好幸・木村純一
常 青・鈴木桂子・金子克哉
清杉孝司・中岡礼奈・林 和輝

14:30-14:45

- A3-18 鬼界カルデラ長浜溶岩の掘削と噴火年代推定
※前野 深・中川光弘・松本垂希子

14:45-15:00

- A3-19 幸屋火砕流の発生・流動様式 ※鈴木桂子
中岡礼奈・清杉孝司・清水 賢・井和丸 光
松野哲男・島 伸和・巽 好幸

13:45-14:00

- B3-15 K-Ar/Ar-Ar 年代測定ワーキングスタンダード
OTO2002 佐藤佳子・※熊谷英恵
羽生 毅・田村 肇

14:00-14:15

- B3-16 十勝岳, 1962 年と 1988 - 1989 年噴火の比較岩石学：
噴火様式とマグマプロセスの理解のための事
例研究 ※中川光弘・松本垂希子
小林恭平・和田恵治

14:15-14:30

- B3-17 古地磁気方位の比較からみた大雪火山群鉢平火山
の噴火史 ※安田裕紀・佐藤鋭一・鈴木桂子

14:30-14:45

- B3-18 富士南麓・東白塚南溶岩流の樹型による溶岩降伏値
と溶岩流速の推定 ※本多 力・畑中 将
勝間田隆吉・川村一之

14:45-15:00

- B3-19 Stratigraphy and Componentry Analysis of the Proximal V
olcanic Succession of Tangkuban Parahu V olcano, West
Java, Indonesia Syahreza S. Angkasa
※大場 司・井村 匠

ポスターセッション

学生優秀ポスター発表賞・審査タイム	9月25日	16:55 - 18:00
ポスター発表・コアタイム (奇数番号)	9月25日	18:00 - 19:00
ポスター発表・コアタイム (偶数番号)	9月26日	14:25 - 15:25

P001	全方位ミュオグラフィにおける3次元密度再構成解析手法 ※◎長原翔伍・宮本成悟	P018	境界要素法に基づく火山周辺の気象庁傾斜計データの評価の検討 ※川口亮平
P002	宇宙線ミュオンを用いた火山密度イメージング観測手法の紹介 ※宮本成悟	P019	GNSS観測から得られた三宅島火山の地殻変動と圧力源 ※◎渡部陽奈・松島 健・福井海世 渡邊篤志・及川 純・奥田 隆 小澤 拓・宮城洋介
P003	雌阿寒岳北麓におけるMT法比抵抗構造探査 ※◎井上智裕・橋本武志	P020	火山観測用可搬型レーダー干渉計の開発 小澤 拓 ※姫松裕志
P004	雌阿寒岳における岩石磁気の調査 ※島村哲也 松本恵子・下司信夫・小田啓邦	P021	PALSAR-2により検出された十勝岳における局所的な地殻変動 ※奥山 哲・安藤 忍 札幌管区気象台地域火山監視・警報センター
P005	更新世火山活動に伴う熱水変質帯の発達と火山体浅部の熱水系—水蒸気噴火現象の理解に向けた事例研究— ※濱崎聡志	P022	蔵王山火口湖「御釜」の水・熱・化学収支解明に向けて 知北和久・※後藤章夫
P006	筆島火山の岩脈群の古応力解析 ※◎山下陽子 海野 進・萩谷 宏	P023	ドローンを活用した柱状節理の空撮測量と空間解析 ※◎秋葉祐里・高島愛果・島 弘幸
P007	重力勾配テンソル解析からみた富士山の特徴 ※本多 亮	P024	次世代火山研究推進プロジェクト、分析・解析プラットフォームの石基組織解析機能について ※安田 敦 外西奈津美
P008	熱水流動シミュレーションにより推定される草津白根火山の熱水系とその挙動 ※◎松永康生 神田 径	P025	榛名火山二ツ岳洪川噴火、細粒火砕物の産状と岩石学 ※◎丸山照頼・鈴木由希
P009	霧島硫黄山におけるドローン空中磁気測量 ※小山崇夫・金子隆之・大湊隆雄 渡邊篤志・本多嘉明	P026	BSE像解析に基づくOPXのMg#ゾーニングの定量：箱根東京軽石の例 金口洋子・※石橋秀巳 安田 敦・外西奈津美
P010	臨時観測データを用いた箱根火山の地震波減衰構造の推定 ※◎柏木広和・中島淳一・行竹洋平	P027	白山火山、南竜噴火の岩石学 ※◎宮下太郎 海野 進・酒寄淳史
P011	3-D multiphase flow modeling: a method to constrain electrical conductivity structure of volcanoes ※ Marceau Gresse・Takao Koyama・Makoto Uyeshima Tsuneo Ishido・Yuichi Morita・Yoichi Sasai Jacques Zlotnicki・Hideaki Hase・Wataru Kanda Yasuo Matsunaga・Koki Aizawa・Hideki Ueda Tawat Rung-Arunwan・Maki Hata・Yusuke Yamaya	P028	桜島火山大正噴火の軽石中の斜長石斑晶の化学分析およびCSD分析：溶岩の斜長石斑晶との比較 ※関口誠人・寅丸敦志
P012	阿蘇火山周辺の3次元地震波速度構造 ※◎木村育磨 大倉敬宏・松本 聡・志藤あずさ・清水 洋	P029	新富士火山の噴火準備タイムスケールの制約 ※◎諸澤直香・安田 敦・外西奈津美
P013	新燃岳噴火過程を地殻変動から見る ※藤原 智 矢来博司・小林知勝・森下 遊・本田昌樹	P030	霧島新燃岳2011年噴出物中の高Mg斜長石と低Mg斜長石斑晶 ※佐藤博明・太田 努 佐藤鋭一・中村栄三
P014	ストロンボリ火山の2014年8月山腹噴火に伴う山体変形 ※◎石川歩・西村太志・青山 裕 川口亮平・藤田英輔・三輪学央 山田大志・Maurizio Ripepe	P031	清風海山玄武岩の岩石学的・地球化学的特徴 ※◎足立勝美・柵山徹也・石井輝秋 栗谷 豪・中川光弘
P015	伊豆大島の多成分ひずみ計の複数の傾斜計を利用した検定(2) ※小久保一哉	P032	新潟県中越地域片貝ガス田における珪長質水底火山岩体の内部構造と貯留岩形成過程 ※野中美雪 杉山 裕・八木正彦・山田泰生
P016	地形を考慮した有限要素法による地殻変動計算システムの開発 ※山田晋也・小林知勝	P033	草津白根火山、太子火砕流堆積物の岩石学的研究 ※◎勝岡菜々子・石崎泰男・長井雅史・寺田暁彦
P017	2016年以降の雌阿寒岳北東部における膨張性地殻変動について ※◎白木友貴・村上 亮	P034	北西九州、北松浦にある100m厚の玄武岩質溶岩の形成過程 荒木亮太郎・※柵山徹也
		P035	榛名カルデラ形成噴火のマグマ—里見火砕流堆積物からの示唆— ※◎岡野百花・鈴木由希

- P036 マイクロライト組織の解析に基づく高粘性マグマ噴火の酸化組織形成過程 ※佐野恭平・佐藤鋭一
和田恵治・壺井基裕・中岡礼奈
- P037 榛名カルデラ形成噴火のマグマ—白川火砕流堆積物からの示唆— ※◎木谷悟郎・鈴木由希
- P038 伊豆-マリアナ弧、八丈島の西山火山噴出物に産する斜長岩の成因 ※斎藤拓哉・安井光大
井村 匠・相澤正隆
- P039 火道を上昇するマグマ内における水の減圧発泡について：粘性を含む核形成速度の定式化と気泡数密度の再評価(2) ※◎西脇瑞紀・寅丸敦志
- P040 大規模珪長質噴火の先行活動—鬼界 7.3ka 噴火および屈斜路 120ka 噴火の例— ※松本亜希子・中川光弘
前野 深・長谷川健
- P041 新潟焼山第 4 期噴出物の石基組織解析による噴出プロセスの検討 ※◎吉田 巧・齋藤武士
- P042 十和田火山八戸噴火のマグマ溜まりの温度圧力条件の推定 ※広井良美・安池由幸
- P043 テフラ層序からみた新潟焼山火山噴火履歴 ※◎フェイス ウイルダン ムハラッド・石崎泰男
- P044 3 万年前の始良カルデラ噴火の前兆として噴出した流紋岩溶岩 ※小林哲夫・西村光史・迫口友里
高木哲一・昆 慶明・荒岡大輔
- P045 兵庫県姫路市南東部に分布する後期白亜紀火成岩類の地質学・岩石学的検討 ※◎毛利元紀
内藤美桜・能美洋介
- P046 榛名火山二ツ岳渋川噴火、無層理の厚い火砕流堆積物の産状と岩石学 ※鈴木由希・福島涼人
- P047 長野県、高社火山に見られる高社降下軽石 A2 層の対比と飯綱上樽テフラ KT-a 層の再区分 ※◎高杉直彰
齋藤武士・竹下欣宏・牧野州明・鈴木毅彦
- P048 鳥海山、西鳥海カルデラ内の噴出物の層序と岩石学的特徴 ※久次米晃輔・伴 雅雄・林信太郎
大場 司
- P049 Characteristics of the Caldera II Deposits, Batur Volcanic Complex, Bali, Indonesia Characteristics of the Caldera II Deposits, Batur Volcanic Complex, Bali, Indonesia ※◎Noor Rahajeng Ardinni
Toramaru Atshushi・Harjoko Agung
Wibowo Haryo Edi・Miyamoto Tomoharu
- P050 雌阿寒岳、中マチネシリ火砕噴火期 I・II の噴火推移とマグマの変遷 ※和田恵治・石田滉人
佐藤鋭一・遠藤優磨
- P051 北八ヶ岳、横岳最新溶岩の噴出年代と噴火プロセスの検討 ※◎新田寛野・齋藤武士
- P052 鳥海山西部、鳥海湖北西岸から新たに発見された火口群について(速報) ※林信太郎・伴 雅雄
大場 司
- P053 利尻火山の噴出物の K-Ar および Ar/Ar 年代と火山発達史 ※◎谷内 元・栗谷 豪・中川光弘
北川 宙・小林 桂・中村栄三
- P054 溶岩の微地形を利用した完新世火山活動の認識 ※及川輝樹
- P055 弥陀ヶ原火山における火砕成溶岩の成因 ※◎松本弥祿・石崎泰男
- P056 岩手火山、雫石及び小岩井—大石渡岩屑なだれ堆積物の崩壊源—岩手火山列南列の馬蹄形カルデラ群— ※土井宣夫
- P057 鬼首カルデラ起源、下山里凝灰岩の示す岩相上および岩石学的特徴について ※◎永塚弘樹・藤縄明彦
- P058 羅臼-知床硫黄火山群形成史の再検討 ※石塚吉浩
中野 俊
- P059 妙高火山中央火口丘期の火山地質学及び岩石学的研究 ※◎中島壮太郎・石崎泰男
- P060 阿多火砕流堆積物中の粗粒岩相の流動堆積機構 ※里和玲伊・鈴木桂子・中岡礼奈・清杉孝司
- P061 バイオレントストロンボリ噴火により形成されたスコリア丘の堆積物：阿武単成火山群伊良尾火山の例 ※清杉孝司・太田岳洋
- P062 霧島火山群、新燃岳 2011 年の準プリニー式噴火に伴う火砕流 ※筒井正明・小林哲夫
- P063 クッタラカルデラ火山、Kt-1 噴出物の噴火様式 ※◎富島千晴・三浦大助・上澤真平
- P064 東京都青ヶ島火山ボーリングコアに基づく火山層序の確認 ※伊藤順一・川辺禎久・高田 亮
- P065 和歌山県すさみ町、戎島付近の火砕岩脈の産状と形成過程 ※和田穰隆・奥田有佐
- P066 志賀火山の形成史 ※◎村上翔大・石崎泰男
- P067 光ファイバーと DAS を用いた吾妻山の不均質構造の推定 ※江本賢太郎・西村太志
中原 恒・三浦 哲・山本 希・杉村俊輔
植田尚大・石川 歩・木村恒久
- P068 Japan Volcanological Data Network システムの開発 ※上田英樹・山田大志・松澤孝紀
三輪学央・長井雅史
- P069 自動震源決定手法 (PF 法) の伊豆大島火山性地震への適用 ※通山尚史・溜淵功史・川口亮平
宇平幸一・吉開裕亮・松末伸一・宮村淳一
- P070 S 波コーダエンベロープのインバージョン解析に基づく伊豆大島浅部構造の不均質構造の推定 ※◎植田尚大・西村太志・中原 恒
- P071 地震時に見られる傾斜ステップに関する考察 ※本多 亮
- P072 吾妻山における傾斜変動を伴う火山性微動について ※吉開裕亮・近江克也・丹原 裕・小林 幸
山本 希・森田裕一
- P073 蔵王山における深部低周波地震の震源メカニズム ※◎池谷拓馬・山本 希
- P074 長周期地震の震源決定と地震・空振の初動解析に基づくストロンボリ火山の火道内マグマ挙動の推定 ※杉村俊輔・西村太志・Maurizio Ripepe
Giorgio Lacanna・Denis Legrand・Sébastien Valade

- P075 振幅分布に注目した機械学習による火山性地震の検知(改良版) ※前田裕太
- P076 雲仙火山溶岩ドーム近傍で観測された火山性地震の波形解析 ※◎宮野幹大・清水 洋・松島 健
松本 聡・相澤広記・橋本 匡・林田祐人
湯浅雄平・前迫直人・河村優太
- P077 箱根山 2019 年火山活動において観測された深部低周波微動 ※行竹洋平
- P078 火山性深部低周波地震の自動検出及び波動エネルギー推定の試み ※久保武史・八木原寛
- P079 箱根大涌谷における放熱量の時間変化 ※原田昌武
萬年一剛・板寺一洋・安部祐希
- P080 箱根火山大涌谷における噴気温度の連続観測 ※加藤照之・宮下雄次・萬年一剛
菊川城司・原田昌武
- P081 草津白根山周辺水環境の水質特性と温泉排水・坑排水の影響 ※◎猪狩彬寛・小寺浩二・浅見和希
- P082 火山灰採取装置 SATSUMA による噴出物モニタリングの進展 ※嶋野岳人・安田 敦・井口正人
- P083 噴気連続画像の自動処理 ※橋本武志
- P084 弥陀ヶ原火山地獄谷の火山活動モニタリング(2) ※◎山本大貴・石崎泰男
- P085 気象レーダーを用いた噴煙解析ツールの開発(第2報) ※千馬竜太郎・佐藤英一
- P086 衛星によるアジア太平洋域活火山のリアルタイム観測:「しきさい」(GCOM-C SGLI)によるシステムの開発 ※金子隆之・安田 敦・高崎健二
- P087 衛星 SAR を用いた降灰量分布推定手法の研究(その2) ※小澤 拓・藤田英輔
- P088 次世代火山研究推進事業 課題 B サブテーマ 2-2:火山表面現象遠隔観測技術の開発 ※實淵哲也
三輪学央・長井雅史
- P089 草津白根火山における浅部熱水だまりの化学組成 ※◎香取 慧・寺田暁彦・西野佳奈
沼波 望・大場 武・谷口無我
- P090 火口湖湯釜の化学組成からみた草津白根山のマグマ熱水活動 ※谷口無我・大場 武・寺田暁彦
- P091 吾妻山における土壌ガス放出率連続観測 ※福井敬一・高木朗充・菅野智之・堀口桂香
- P092 箱根山 2019 年火山活動活発化による噴気と河川水への影響 ※◎沼波 望・大場 武・谷口無我
- P093 箱根火山大涌谷における二酸化硫黄放出率 2019 年 6 月までの推移 ※安部祐希・原田昌武
板寺一洋・森 健彦・高木朗充
- P094 検知管による噴気 CO₂/H₂S 比測定 ※大場 武
- P095 上空二酸化硫黄測定装置観測網による桜島の二酸化硫黄放出率観測 ※森 俊哉
- P096 多成分火山ガス観測装置(Multi-GAS)のセンサー感度補正の試み ※北川隆洋・風早竜之介
- P097 フィリピン・タール火山における火山ガスのヘリウム・炭素同位体比 ※外山浩太郎・角野浩史
川名華織・大場 武・沼波 望・谷口無我
- P098 箱根大涌谷の温泉水の化学組成変化とリザーバ温度の推定 ※◎諸石喜大・大場 武・谷口無我
- P099 火山地域地下水中の放射性塩素同位体比(³⁶Cl/Cl 比)によるマグマだまり状態推定の試み 阿蘇カルデラを対象として ※森川徳敏・風早康平・佐藤 努
高橋 浩・戸崎裕貴・高橋正明・稲村明彦
- P100 ハロゲン元素比による東北地方の塩水の起源推定 ※東郷洋子・風早康平・高橋正明・森川徳敏
戸崎裕貴・佐藤 努・高橋 浩
中村有理・堀口桂香
- P101 霧島火山群硫黄山における湯だまりの微量元素の地球化学的特徴 ※◎山下 慧・石橋純一郎
宮本知治・松島 健・益田晴恵・田島靖久
- P102 吾妻山におけるガスセンサーおよび化学分析による火山ガス観測結果の比較 ※堀口桂香・菅野智之
谷口無我・北川隆洋・風早竜之介
岡田 純・関 晋
- P103 箱根山における火山活動活発化に伴う噴気組成の変化 ※代田 寧・大場 武・谷口無我・十河孝夫
瀧沢倫明・原田昌武
- P104 官・学・民が連携した防災教育～「島原防災塾」～ ※大野希一・清水 洋
- P105 火山ハザードマップデータベースの構築について ※久保智弘・宮城洋介・河野裕希
- P106 富士山における登山者把握の取組“富士山チャレンジ” ※吉本充宏・本多 亮・久保智弘・宮城洋介
田中義朗・福崎昭伸・安永隆一・畠中雅弘
- P107 火山碎屑物の調査におけるハイパースペクトルイメージの活用 ※小野秀史・藤原康正・嶋 将志
- P108 火山灰影響の実験に向けた軽石質火山灰の人工的作成法の検討 ※竹内晋吾
- P109 火山噴火に直面してきた霧島ジオパークの実践と課題 ※石川 徹
- P110 高等学校地学及び地理の教科書における火山に関する正しい記述を目指して ※横山 光・青山 裕
佐藤 公・萬年一剛・三好雅也
林信太郎・山口珠美・増淵佳子
- P111 火山災害軽減に効果的な地域の関係性に関する考察 口永良部島におけるヒアリング調査から ※◎石水英梨花・阪本真由美
- P112 口永良部島 2018 年以降の噴火活動 ※菅井 明
篠原英一郎・中村政道・森 健彦
- P113 玄武岩マグマ噴火の準備過程に関する 1 次元火道流モデルの数値的研究 ※松野千裕・小園誠史
- P114 せん断変形する気泡の流体シミュレーション ※◎丸石崇史・寅丸敦志
- P115 白山火山の山頂域にみられる火山岩塊の定置温度と年代(序報) ※藤原 寛・石崎泰男
清水祐輔・川崎一雄
- P116 火山灰による太陽光発電量の減少率を利用した降灰量推定 ※宇野史睦・新堀敏基
橋本明弘・小長谷瑞木

- P117 移流拡散モデルによる大規模噴火を想定した降下火
 砕物予測の課題（その3）噴煙ダイナミクスモデルに
 基づく初期条件 ※新堀敏基・鈴木雄治郎
 入山 宙・石井憲介・佐藤英一・藤田英輔
- P118 青木ヶ原・石塚溶岩流の溶岩チューブ洞窟と樹型か
 ら得られる知見 ※本多 力・勝間田隆吉
 鈴木一年・宮下弘文・宮崎 哲・川村一之
- P119 蔵王火山 1895 年噴火の投出岩塊の噴出速度および噴
 出角の推定 ※◎杉下七海・伴 雅雄
 常松佳恵・佐々木寿
- P120 等層厚線図を利用したテフラの初生粒径分布の推定
 手法の検討 ※西来邦章・永田直己・広井良美
- P121 御嶽山二ノ池で発生したスラッシュ雪崩
 ※國友孝洋・田ノ上和志・堀川信一郎・山中佳子
- P122 蔵王山東麓濁川・遠刈田地域のラハール堆積物—堆
 積過程・発生要因・年代について—
 ※◎川畠弘之介・伴 雅雄・常松佳恵・片岡香子